

平成 28 年 度

石狩市教育委員会会議（5月定例会）議案

石 狩 市 教 育 委 員 会

日 程

日 時 平成28年5月27日（金） 午後1時30分

場 所 市役所本庁舎 市議会第2委員会室

日程第1 署名委員の指名

日程第2 議案第1号 石狩市社会教育委員の委嘱について（非公開）

議案第2号 石狩市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について（非公開）

議案第3号 平成28年度一般会計補正予算（第2号補正）について（非公開）

議案第4号 石狩市文化財保護審議会への諮問について

日程第3 教育長報告

日程第4 報告事項

① 平成28年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について

日程第5 協議事項

① 学校整備の具体策（案）について

日程第6 その他

日程第7 次回定例会の開催について

平成28年 6月 日（ ） 時 分開催

議案第 4 号

石狩市文化財保護審議会への諮問について

平成 28 年 5 月 27 日提出

教育長 鎌 田 英 暢

このことについて、石狩市文化財保護審議会に対し、下記のとおり諮問したいので、石狩市教育委員会事務委任規則（平成 3 年教育委員会規則第 13 号）第 1 条第 15 号の規定に基づき議決を求める。

諮問①

石教文第 号

平成 年 月 日

石狩市文化財保護審議会会長 様

石狩市教育委員会

教育長 鎌田 英暢

これからの厚田区にふさわしい資料館のあり方について（諮問）

石狩市文化財保護条例第 4 条第 2 項及び石狩市文化財保護条例施行規則第 4 条第 4 項の規定に基づき、下記の事項について諮問します。

記

1. 諮問事項

これからの厚田区にふさわしい資料館のあり方について

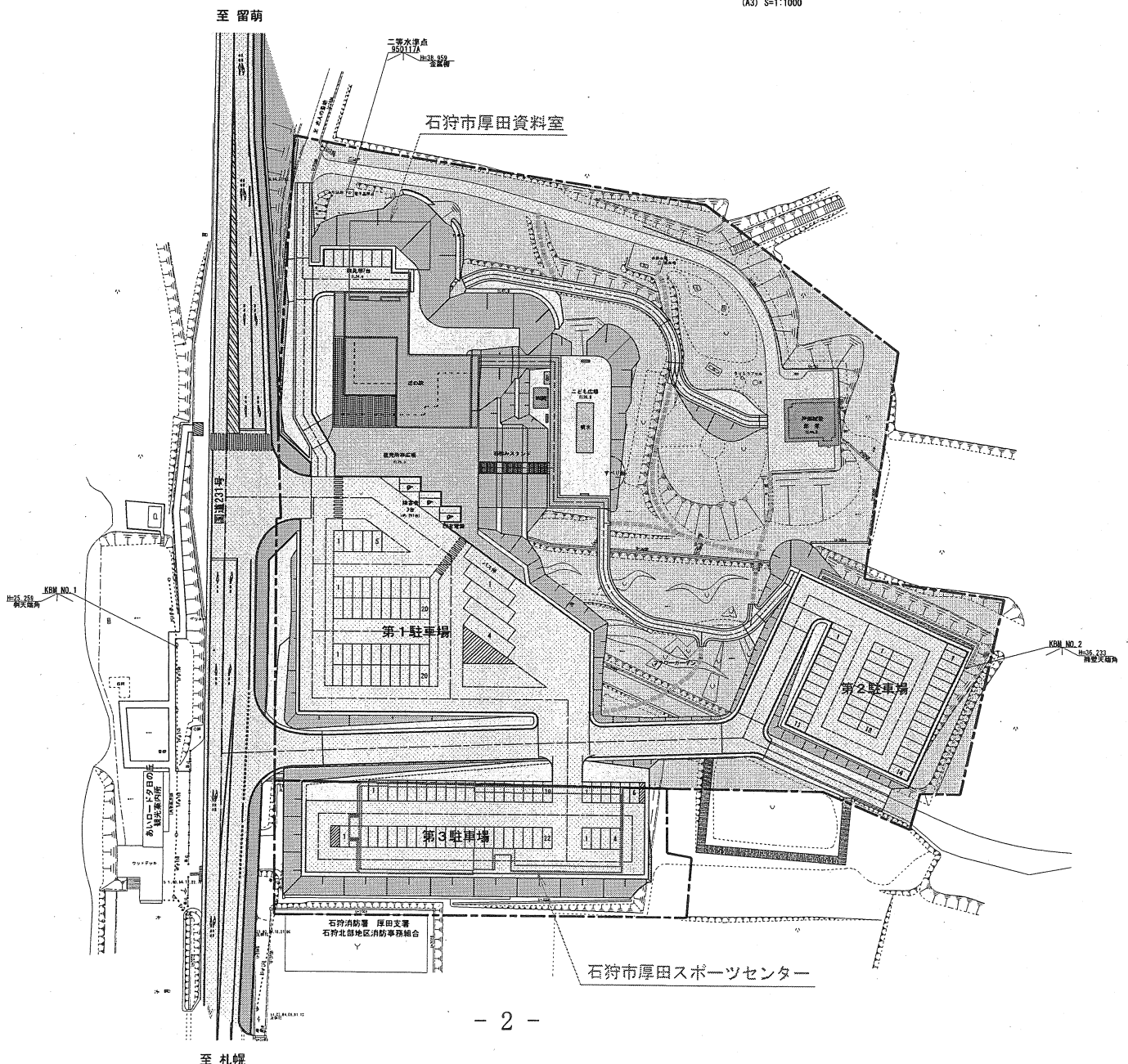
2. 諮問理由

厚田区の資料館については、昭和 54 年に開設された厚田資料室があり、平成 24 年度に答申をいただいた「これからの郷土資料の保存・展示のあり方について」の中でその位置付けを明示されたところです。

しかし、厚田資料室は、現在計画が進められている道の駅（仮称：あつたか・あいろんど）建設に伴い建物が撤去されることになり、これに伴う新たな展示施設は道の駅の施設内部に設置され、その内容が検討されているところです。

そのため、道の駅に設置されるふさわしい機能や運営手法など、これからの厚田区の資料館のあり方についてご検討いただき、目指すべき方向性についてご意見を頂きたいと存じます。

道の駅(仮称)あったか・あいろんど計画案



諮問②

石教文第 号

平成 年 月 日

石狩市文化財保護審議会会長 様

石狩市教育委員会

教育長 鎌田 英暢

「古潭龍澤寺の鰐口」の市指定文化財指定について（諮問）

石狩市文化財保護条例第4条第2項及び石狩市文化財保護条例施行規則
第4条第4項の規定に基づき、下記の事項について諮問します。

記

1. 諮問事項 「古潭龍澤寺の鰐口」の市指定文化財指定について

2. 諮問物件の概要

- ①名 称 古潭龍澤寺の鰐口
- ②種 別 有形民俗文化財
- ③点 数 2点
- ④所有者 石狩市教育委員会
- ⑤概 要 別紙指定候補一覧の通り

3. 由来

鰐口とは神社仏閣の軒先に掛けて鳴らす器具で、古来より信者檀家が奉納することが多い。石狩市では石狩弁天社にある文化 11（1814）年の鰐口が知られています。

「古潭龍澤寺の鰐口」は、石狩市厚田区古潭の龍澤寺に伝えられてきた鰐口です。鰐口は二点あり、「松前城下村山傳兵衛」「寛政三辛亥年三月吉日」と彫字されているものは、最大径 23cm の銅製です。もう一点の鰐口には「寛政四壬子八月廿日」と彫られており最大径は 37cm あります。

近世、厚田には厚田場所が開かれましたが、古潭川河口に位置する古潭は鯺漁場であり、隣接する押琴は厚田場所の中心的な寄港地となっていました。

押琴には運上屋のほか弁天社がありましたが、この弁天社は明治初期に廃され、その奉納物や建物の一部は古潭の龍澤寺に引き継がれたと伝えられています。寛政三年の鰐口は、このとき弁天社から受け継いだものだと言われています。また、もう一点の寛政四年の鰐口は、はっきりした記録は見出せないものの厚田場所に係わる神社に奉納されたものである可能性が高いと考えられます。

いずれも明治以降、厚田区古潭の龍澤寺が所蔵していましたが、厚田村が寄贈を受け、寛政三年の鰐口については、昭和 45 年 9 月 7 日付けで北海道開拓記念館（現北海道博物館）に寄託されて現在に至っています。また、寛政四年の鰐口は厚田総合センターに展示されています。

4. 文化財としての価値

奉納者である村山傳兵衛は、近世蝦夷地における代表的な場所請負人で石狩場所、厚田場所の請負も行っており、石狩市とはゆかりの深い人物です。また、北海道内で近世中期以前に遡る鰐口など本州との交流を示す遺物は数少なく、また多くは道南部に集中しており、道央以北のものとしては希少で、近世の蝦夷地と本州との交流を考える上で極めて重要な資料と考えられます。

指定候補一覧

番号	資料名	種 別	最大径 (cm)
1	古潭龍澤寺の鰐口 (寛政三(1791)年)	有形民俗文化財	23cm
2	古潭龍澤寺の鰐口 (寛政四(1792)年)	有形民俗文化財	37cm



番号1 古潭龍澤寺の鰐口
(寛政三年)



番号2 古潭龍澤寺の鰐口
(寛政四年)

